



# QUIS-ME NEWS vol.3

## パプアニューギニアの学校から



PNG 教育省/国際協力機構、2017年9月発行



### ～ミャンマーの教科書開発プロジェクトとの技術交換～

皆さま、ご無沙汰しております。2017年8月16日から27日にかけて、「他国との学び合いに関する活動」と題して、カウンターパートとともにミャンマーを訪問し、同国で実施中の教科書開発プロジェクトと技術交換活動を実施しました。今回のQUIS-ME NEWSではこちらの活動について紹介させていただきます。

#### 1. 「他国との学び合いに関する活動」の概要

ミャンマーでは、小学校の全学年にあたる1～5年生の教科書・指導書開発を目標の一つに掲げた「ミャンマー初等教育カリキュラム改訂プロジェクト(通称CREATEプロジェクト)」が2014年よりJICAの支援で実施されています。2017年、このCREATEプロジェクトで開発した小学校1年生の教科書・指導書が、ミャンマー教育省主導で全国の小学校に配布され、現場での活用が開始されました。

我々QUIS-MEプロジェクトも全国に配布する国定教科書・指導書の開発を目下行っており、CREATEプロジェクトは同じ目標を持つ先行プロジェクトということになります。これまでの両プロジェクトで得た知見や経験を共有し、お互いに学び合うために、QUIS-MEプロジェクトのカウンターパート8名が研修員としてCREATEプロジェクトを訪れました。活動を通して研修員は、ミャンマーの事例や成果を学び、またパプアニューギニアではまだ実現していない部分を目の当たりにし感銘を受けると同時に、今後、何をしっかりと計画し、目指していかないといけないかを考える機会となりました。



JICA HPより  
開発された新教科書を使うミャンマーの小学校1年生

#### 2. 活動内容



【CREATEプロジェクトのメンバーとの意見交換】教科書開発にかかる背景や現状、開発手順などについて情報共有されました。



【プロジェクト事務所の視察】一連の開発環境が、事務所の建物内に整っていることに、研修員は感銘を受けていました。



【教員養成校の視察】養成校の生徒達は、今後学校現場で活躍する教師の卵です。新教科書を用いて授業案の作成などの講義が行われていました。



【小学校の視察】CREATE プロジェクトが開発支援した新教科書が授業で活用されている小学校では、生徒中心の授業が展開されていました。



【CREATE の現地メンバーとの議論（理科）】

授業でどのような教材が利用されれば生徒の理解を深めることができるかなど、教科書・指導書に対するアイデアを共有しました。



【CREATE の現地メンバーとの活動（算数）】

算数の教科書・指導書の開発を共同で行い、お互いの教科書開発に関する知見を共有しました。

学びあい活動の終盤は、これまでに得た知見・経験をどのようにパプアニューギニアで活用できるか、教科書開発の視点だけにとどまらず、政策提言にいたる点まで活発に QUIS-ME の研修員の中で議論しました。そして、開発中の教科書・指導書のどの部分をどう修正していくかという具体的なアイデア、開発段階で教員養成校や付属小学校と連携をとることがいかに重要であるかの理解、また、今後、長期的には全ての教科の教科書を開発する必要があるという政策面での提言などが、最終日に研修員から報告されました。

同行した私から見て、研修員が CREATE プロジェクトから得たことは、知見・経験を学ぶだけではなくだったと思います。研修を通して、QUIS-ME の研修員が自信を持ったように見えました。それは、これまで日本などの先進国で研修に参加する機会はありませんでしたが、今回のように、教科書を作成している他国の同じ立場の人々と出会い議論する機会が初めてです。理科・算数だけを見ても、2つのプロジェクトで開発している教科書・指導書には違いがありますが、どうしてそのような構成や書き方にしたかなど、同じ立場の人々と対等に議論できたことが、彼らの自信につながったのではと思います。また逆に、児童の活動を元にした問題解決型の授業構成となっているところなど、根本的な共通点も見つけられたことで、自分たちが開発している教科書の方向性へ自信がついたようです。この点は CREATE のカウンターパート達も同じ思いを抱いたのではと思っています。



CREATE と QUIS-ME プロジェクトの算数（左）、理科（右）グループの集合写真

パプアニューギニアに帰国後、教育省幹部も参加する会議において、今回の活動の成果を研修員が報告、提言しました。教育省幹部もこの報告に感銘を受け、今後のプロジェクト活動はもとより、プロジェクト終了後にも、より良い方向に進むきっかけになることを期待しています。本活動で研修員が得た学びを活かし、今後も引き続き、QUIS-ME プロジェクトでは理科と算数の教科書・指導書の開発を続けていきます。



政府高官も出席する合同調整会議で報告・提言がなされました。

最後に、ご支援いただきました CREATE 専門家・現地スタッフの皆さん、素晴らしい歓迎をいただいた訪問先の学校の先生たち、そして温かく迎えていただけると共に活発な議論を交わさせて貰った CREATE カウンターパートの皆さんに、QUIS-ME プロジェクト一同、感謝しております。



(ミャンマーの文化遺産、シェダゴンパゴダにて)

## Editor's Voice

長文、お読みいただきありがとうございました。パプアニューギニアとミャンマーは、地理的、文化的、また宗教的にも近い国ではないと思います。しかし今回、国の教科書開発という大仕事を担っていくメンバーが、その垣根を越えて協力し合い、お互いを認め合ったという成果には意義深いものを感じます。今後とも、QUIS-ME プロジェクトをどうぞよろしくお願いいたします。

文責：来島 / 写真：山岡、来島